

「ドボン」というトランプのゲームについて

1年 I科 佐藤 諒

ドボンとは、カードを出しながらお互いの手札を読みあうゲームである。
以下説明を短くするために、スペード、クローバー、ハート、ダイヤをそれぞれ S、C、H、D と省略し、「スペードの 4」→「S4」のように表記する。

ドボンのルール

1、勝利条件

最後にドボンコールをした人が勝ち。逆にドボンコールされたカードの持ち主の負け。
(ドボンコールについては下で詳しく)

2、準備

カードを 5 枚ずつ配る。その後、皆の中心（仮に「場」と呼ぶ）にカードを 1 枚表向きで置く。残りは山札として横に置いておく。一番初めにカードを出す人をじゃんけんなどで決める。以下時計回りに順番が回る。

3、自分の番にできること

以下の 2 つのうちどちらかを必ず行う。行った後、順番は次の人に移る。

- ・ UNO と同じように場にある表向きのカードの山の一番上のカードと同じマーク、または同じ数字のものを場のカードに重ねて出すことができる。この時同じ数字が 2 枚以上あれば同時に出すことができる。ただし出す順番は本来出せる 1 枚を一番下にして追加で出す分を上重ねて出す。(例 場のカード「S3」に対し「S4」を出す際にさらにその上に「C4」、さらにその上に「H4」を重ねて一度に 3 枚出す)

- ・ 出せない、または出たくない場合山札から 1 枚カードを引く。

また例外として、ゲーム開始から一番初めに出す人はその時のみパスを選択することができる。

4、ドボンコールについて

このゲームでは手札がなくなっても勝ちにはならず、勝つためにはドボンコールをしなければならぬ。ドボンコールは、“自分が出したものの以外の”場の一番上にあるカードが条件を満たした時に「ドボン」といって手札を公開することでかけることができる。その条件とは自分の手札のカードの数字すべてと、数式記号 $+$ $-$ \times \div の 4 種のうちの 1 種のみでできる計算式の答えが場の一番上のカードの数字に等しいことである。

(例 場の一番上のカード「S1 2」 自分の手札「C3、H7、D2」この時は $3 + 7 + 2 = 12$ となるので条件を満たす。 また、自分の手札が「S2、C2、H1、D1、D3」の時も $2 \times 2 \times 1 \times 1 \times 3 = 12$ となり条件を満たす。)

間違えやすいことは自分で出したカードにはドボンコールはできないということである。逆に相手の出したカードが場の一番上にあるときは例え相手の番であってもドボンコールすることができる。なお、ドボンコールの後返しのドボンコールがない場合その時点でゲームが終了する。

5、ドボン返しについて

勝利条件のところで“最後に“ドボンコールした人が勝ちとある。このゲームには返しがあるのだ。これは、同時に条件を満たす人が2人いた場合に起こる可能性がある。誰かがドボンコールした後に別の一人がドボンコールをすることで成立する。この時は最後のドボンコールのみが成立するので勝者は最後にドボンをした人、敗者はその直前にドボンコールした人となる。

(例 Aさんが場に出し、Bさんがそれにドボンコールをし、次にCさんがさらにドボンコールした場合はCさんが勝者、Bさんが敗者となる。)

6、カードの能力について

一般的に1、2、8、9、13には出した時に特殊なルールがある。1、2、9については2枚以上出した場合は累積する。

1・・・次の人の順番をスキップする

2・・・次の人は2枚引く※

8・・・このカードは場のカードにかかわらずいつでも出すことができ、出した後自分の好きなマークを宣言してそのマークにする

9・・・順番を逆にする(時計回りから逆時計回りへ、またはその逆)

13・・・次の人は手札をすべて公開する(公開した手札は出すまで永久公開)※

※が付いているものは次の人も同じ数字を出すことによってさらに次の人に移る。2の場合は枚数が累積する。

ワンポイントアドバイス

・1や2は枚数が多くても待ちがあるので後半まで手札に温存しておくのが望ましい

(例 自分の手札「S1、C1、C2、H1、H2、D1、D3」の場合、11 ($1 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 3 = 11$) と12 ($1 \times 1 \times 2 \times 1 \times 2 \times 1 \times 3 = 12$) の2つの待ちがある)

・相手の手札が2枚以上の場合必ず相手はドボンできる状態にあるので無理に攻めないほ

うがよい

・ 3, 4, 12 のように自分が出した後にドボンされてもドボン返しができる状態を狙うほうがよい (例 自分の手札「S4、C3、D12」の状態から「D12」を出したらドボンされた。しかしこの時自分の手札は「S4、C3」で $4 \times 3 = 12$ でドボン返しをすることができる)

あとがき

以上長々と書いてきたがこのゲームを突き詰めると運と駆け引きの勝負になる。手札に最初から1が2枚もあれば相手は無警戒で突っ込みドボンされるということもある。しかしこのゲームの面白さは駆け引きにあって、ドボンできる状態でもドボン返しを警戒してあえてドボンしないと行ったこともある。ゲーム終了時に、相手とあの時の手札どうだった?などと話すのも面白い。

さて、ルールを長ったらしく書いてきたが、上がり方が特殊なだけでほとんど UNO と同じだ。最後まで読んでいただいた方には是非一度やってみてほしい。そして駆け引きの面白さを感じてほしいと筆者は思っている。